

Title	山本有造教授略歴・著作目録
Author(s)	
Citation	人文學報 = The Zinbun Gakuh : Journal of Humanities (2005), 92: 223-231
Issue Date	2005-03
URL	https://doi.org/10.14989/48661
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

山本有造教授 略歴・著作目録

I 略 歴

年 月 日

- 1940・9 京都市上京区に生まれる
- 1959・3 滋賀県立彦根東高等学校卒業
- 1959・4 京都大学文学部入学
- 1960・4 京都大学経済学部転部
- 1963・3 京都大学経済学部卒業
- 1963・4 (株)三和銀行入行(高麗橋支店勤務)
- 1964・3 同行依願退職
- 1965・4 京都大学大学院経済学研究科修士課程入学
- 1967・3 同課程修了
- 1967・4 京都大学助手(人文科学研究所・日本部)
- 1973・4 兵庫県立神戸商科大学講師
- 1974・4 同助教授
- 1981・4 京都大学助教授(人文科学研究所・日本部)
- 1987・11 同教授
- 1993・3 京都大学博士(経済学)
- 1997・4 京都大学人文科学研究所長(→1999・9)
- 2004・3 京都大学を停年により退職

II 著 作 目 録

A 著書(単著・共著)

書名	発行所	発行年月
1 『国民所得』(大川一司・篠原三代平・梅村又次・総編集『長期経済統計』第1巻) (大川一司・高松信清と共著)	東洋経済新報社	1974・9
2 『貿易と国際収支』(大川一司・篠原三代平・梅村又次・総編集『長期経済統計』第14巻) (山澤逸平と共著)	東洋経済新報社	1979・2
3 『日本植民地経済史研究』	名古屋大学出版会	1992・2
4 『両から円へ——幕末・明治前期貨幣問題研究——』	ミネルヴァ書房	1994・2
5 『「満洲国」経済史研究』	名古屋大学出版会	2003・12

人 文 学 報

B 編 著

- | | | |
|--|-------------|---------|
| 1 『幕末・明治の日本経済』（『数量経済史論集』第4集）
（尾高焯之助と共編） | 日本経済新聞社 | 1988・3 |
| 2 『開港と維新』（『日本経済史』第3巻）
（梅村又次と共編） | 岩波書店 | 1989・3 |
| 3 『産業化の時代』下（『日本経済史』第5巻）
（西川俊作と共編） | 岩波書店 | 1990・2 |
| 4 『「満洲国」の研究』 | 京都大学人文科学研究所 | 1993・3 |
| 5 『(新版)「満洲国」の研究』 | 緑蔭書房 | 1995・4 |
| 6 『帝国の研究 ― 原理・類型・関係 ―』 | 名古屋大学出版会 | 2003・11 |

C 訳 書

- | | | |
|---|-----------|--------|
| 1 J. R. Hicks and N. Nosse『日本経済の構造』
（酒井正三郎・監訳） | 同文館出版 | 1976・6 |
| 2 J. Hughes『世界経済史 ― 工業化の現代史 ―』
（角山栄ほかと共訳） | マグローヒル好学社 | 1977・9 |
| 3 M. de Cecco『国際金本位制と大英帝国』 | 三嶺書房 | 2000・9 |

D 論文（邦文）

- | タイトル | 掲載書 | 発行年月 |
|---|--|---------|
| 1 「国際収支統計の長期総合化について
― 明治元年（1868）-昭和11年（1936）―」 | （京都大学人文科学研究所）
『人文学報』第28号 | 1969・3 |
| 2 「日本経済の発展と外資 ― 日本資本輸入史序説 ―」 | 『人文学報』第29号 | 1970・2 |
| 3 「投資スパートと資本輸入
― 日露戦争・第一次大戦間を中心に ―」 | （社会経済史学会）『社会
経済史学』第36巻第5号 | 1971・1 |
| 4 「植民地下朝鮮・台湾の域外収支（朝鮮篇）」 | 『人文学報』第35号
（のち改稿のうえ『日本
植民地経済史研究』所収） | 1972・11 |
| 5 「日本の植民地投資
― 朝鮮・台湾に関する統計的観察 ―」 | 『社会経済史学』第38巻
第5号（のち改稿のうえ
『日本植民地経済史研究』所収） | 1972・12 |
| 6 「ホームズ船長の冒険
― 開港前後の長崎・横浜・箱館 ―」 | 坂田吉雄・吉田光邦（編）
『世界史の中の明治維新』
京都大学人文科学研究所 | 1972・12 |
| 7 「戦前期日本の国際収支
― 長期波動分析による試論 ―」 | 『経済研究』第24巻第4号 | 1973・10 |
| 8 「国際収支の長期変動」 | 大川一司・南亮進（編）
『近代日本の経済発展 ―
「長期経済統計」による
分析 ―』東洋経済新報社 | 1975・6 |
| 9 「植民地下朝鮮・台湾の域外収支（台湾篇）」 | 『人文学報』第40号
（のち改稿のうえ『日本
植民地経済史研究』所収） | 1975・12 |
| 10 「日本の資本形成」 | 社会経済史学会（編）
『社会経済史学の課題と
展望』有斐閣 | 1976・3 |

- | | | |
|--|---|---------|
| 11 「日本統治下における台湾・朝鮮の国際収支」 | 梅村又次・新保博・
西川俊作・速水融（編）
『日本経済の発展 — 近世から
近代へ —』日本経済新聞社
（のち改稿のうえ『日本植民地
経済史研究』所収） | 1979・2 |
| 12 「幕末・明治期の横浜洋銀市場
— その生成と消滅 —」 | 新保博・安場保吉（編）
『近代移行期の日本経済』
日本経済新聞社（のち改稿の
うえ『両から円へ』所収） | 1979・2 |
| 13 「明治初年の『円』
— 金円・銀円・紙円に関する予備的考察 —」 | （神戸商科大学）『商大
論集』第32巻第5号
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収） | 1981・3 |
| 14 「万延二分金考 — 幕末・維新期の基準貨幣 —」 | 『人文学報』第54号
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収） | 1983・2 |
| 15 「内ニ紙幣アリ外ニ墨銀アリ
— 大隈財政期の通貨構造 —」 | 『人文学報』第55号
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収） | 1983・9 |
| 16 「大隈財政の本態と擬態
— 『五千万円外債案』を中心に —」 | 梅村又次・中村隆英（編）
『松方財政と殖産興業政策』
国際連合大学（東京大学
出版会・発売） | 1983・12 |
| 17 「明治前期財政統計における金・銀・紙混計問題について
— 明治14年度正貨予算書の分析を中心に —」 | 同上（のち改稿のうえ
『両から円へ』所収） | 1983・12 |
| 18 「『旧日本帝国』の域内・対外貿易マトリックスの作成」 | （溝口敏行と共筆）
『経済研究』第35巻第1号 | 1984・1 |
| 19 「談叢近代日本関係洋書・VI（A. Carruthers,
<i>The Pet of Consulate</i> , London, 1882）」 | 『人文学報』第57号 | 1984・9 |
| 20 「三人ガワー」 | 吉田光邦（編）『十九世紀
日本の情報と社会変動』
京都大学人文科学研究所 | 1985・3 |
| 21 「金銀本位制論 — 『貨幣法』成立前史 —」 | 『人文学報』第59号
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収） | 1986・2 |
| 22 「英領海峡植民地における円銀流通とその終焉」 | 角山栄（編）『日本領事
報告の研究』同文館出版
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収） | 1986・12 |
| 23 「両・円切替期における通貨と記帳
— 大坂・山口家勘定帳および備後府中・
延藤家勘定帳の事例に即して —」 | 『人文学報』第61号
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収） | 1987・3 |
| 24 「幕末・維新期の通貨構造」 | 尾高煌之助・山本有造（編）
『幕末・明治の日本経済』
日本経済新聞社（のち改稿の
うえ『両から円へ』所収） | 1988・3 |

- 25 「台湾・朝鮮の資本形成」 溝口敏行・梅村又次（編） 1988・7
『旧日本植民地経済統計
— 推計と分析 —』
東洋経済新報社（のち改稿の
うえ『日本植民地経済史
研究』所収）
- 26 「『帝国』内貿易マトリックス」 （溝口敏行と共筆） 溝口・ 1988・7
梅村（編），同上
- 27 「台湾・朝鮮の貿易と国際（域外）収支」 （溝口敏行と共筆） 溝口・ 1988・7
梅村（編），同上
- 28 「概説 — 1860 - 1895 年 —」 （梅村又次と共筆） 1989・3
梅村又次・山本有造（編）
『開港と維新』（『日本経済史』
第3巻）岩波書店
- 29 「明治維新期の財政と通貨」 梅村・山本（編），同上 1989・3
（のち改稿のうえ『両から
円へ』所収）
- 30 「植民地経営」 中村隆英・尾高煌之助（編） 1989・8
『二重構造』（『日本経済史』
第6巻）岩波書店（のち
改稿のうえ『日本植民地
経済史研究』所収）
- 31 「八十翁貝原益軒の生活と意見
— 『篤信一世用財記』を中心に —」 横山俊夫・藤井譲治（編） 1989・10
『安定期社会における人生の
諸相 — 老人と子供 —』
（財）京都ゼミナールハウス
- 32 「貿易」 （奥和義と共筆） 西川俊作・ 1990・2
山本有造（編）『産業化の
時代（下）』（『日本経済史』
第5巻）岩波書店
- 33 「関東州貿易統計論」 『人文学報』第66号（のち 1990・3
改稿のうえ『満洲国』
経済史研究』所収）
- 34 「日本における植民地統治思想の展開」（Ⅰ）（Ⅱ） 『アジア経済』第32巻 1991・1, 2
第1号，第2号（のち
改稿のうえ『日本植民地
経済史研究』所収）
- 35 「円と元
— 近代幣制史にみる日中文化交渉の一齣 —」 国立台湾大学日本総合 1992・3
研究中心（編）『中日文化
差異研究会論文集』国立
台湾大学日本総合研究中心
- 36 「『満洲国』をめぐる対外経済関係の展開
— 国際収支分析を中心として —」 山本有造（編）『満洲国』 1993・3
の研究』京都大学人文科学
研究所（のち改稿のうえ
『満洲国』経済史研究』所収）
- 37 「『大東亜共栄圏』構想とその構造」 古屋哲夫（編）『近代 1994・3
日本のアジア認識』
京都大学人文科学研究所
- 38 「貨幣制度・貨幣政策」 西川俊作・尾高煌之助・ 1996・1
齊藤修（編）『日本経済の
200年』日本評論社

- 39 「財政・財政政策」 (持田信樹と共筆) 西川・ 1996・1
尾高・斉藤(編), 同上
- 40 「『満洲国』生産力のマクロ的研究・序説
—「満洲国産業生産指数」の検討を中心に—」 『経済研究』第47巻 1996・4
第2号(のち改稿のうえ
『『満洲国』経済史研究』所収)
- 41 「『大東亜金融圏』論」 『人文学報』第79号 1997・3
- 42 「『朝鮮』・『満洲』間陸境貿易論
— 地域間関係史のひとつの試み —」 (年報・近日本研究19) 1997・11
『地域史の可能性
— 地域・日本・世界 —』
山川出版社(のち改稿のうえ
『『満洲国』経済史研究』所収)
- 43 「『満洲国』農業生産力の数量的研究」 『アジア経済』第38巻 1997・12
第12号(のち改稿のうえ
『『満洲国』経済史研究』所収)
- 44 「植民地統治における『同化主義』の構造
— 山中モデルの批判的検討 —」 『人文学報』第83号 2000・3
- 45 「日本植民地帝国と東アジア」 古屋哲夫・山室信一(編) 2001・1
『近代日本における東アジア
問題』吉川弘文館(のち
改稿のうえ『『満洲国』
経済史研究』所収)
- 46 「『満洲国』
— ある歴史の終わり、そして新たな始まり —」 季刊『環』Vol. 10 2002・夏
- 47 「『満洲国』鉱工業生産力の水準と構造」 『人文学報』第88号 2003・3
(のち改稿のうえ『『満洲国』
経済史研究』所収)
- 48 「帝国とはなにか」 山本有造(編)『帝国の 2003・11
研究』名古屋大学出版会

E 論文(英文)

- 1 “Trade and Balance of Payments” (with Ipei Yamazawa) 1979
in Kazushi Ohkawa and
Miyoei Shinohara eds.,
*Patterns of Japanese
Economic Developmen*,
Yale University Press
- 2 “The Balance of Payments of Taiwan and Korea
under the Japanese Rule” *Zinbun*, Memoirs of the 1982
Research Institute for
Humanistic Studies,
Kyoto University, No. 18
- 3 “Capital Formation in Taiwan and Korea” (with Toshiyuki 1984
Mizoguchi) in R. H. Myers
and M. R. Peattie eds.,
*The Japanese Colonial Empire,
1895-1945*, Princeton
University Press
- 4 “Japanese Empire and Colonial Management” in T. Nakamura and 2003
K. Odaka eds., *Economic
History of Japan 1914-1955:
A Dual Structure*, Oxford
University Press

F 書評・選評

- | | | |
|--|----------------------|-----------|
| 1 「中村隆英（編）『戦間期の日本経済分析』 | 『史学雑誌』第91編
第2号 | 1982・2 |
| 2 「近代日本研究会（編）『幕末・維新の日本』 | 『社会経済史学』第48巻
第3号 | 1982・8 |
| 3 「佐藤雅美『大君の通貨』 | 『エコノミスト』第63巻
第7号 | 1985・2 |
| 4 「小野一一郎（編）『戦間期の日本帝国主義』 | 『社会経済史学』第52巻
第4号 | 1986・11 |
| 5 「浅田喬二・小林英夫（編）
『日本帝国主義の満州支配』 | 『アジア経済』第28巻
第5号 | 1987・5 |
| 6 「浅田喬二『日本植民地研究史論』 | 『アジア経済』第31巻
第12号 | 1990・12 |
| 7 「杉山伸也『明治維新とイギリス人』 | 『三田学会雑誌』第87巻
第4号 | 1995・1 |
| 8 「Toshio Suzuki, <i>Japanese Government Loan Issues
on the London Capital Market, 1870-1913</i> | 『社会経済史学』第61巻
第3号 | 1995・8 |
| 9 「正田康行（編）『南方共栄圏
— 戦時日本の東南アジア経済支配 —』 | 『アジア経済』第37巻
第2号 | 1996・2 |
| 10 「杉原薫『アジア間貿易の形成と構造』 | 『日本経済新聞』 | 1996・11・3 |
| 11 「平井廣一『日本植民地財政史研究』 | 『季刊経済学論集』
第64巻第1号 | 1998・4 |
| 12 「谷本雅之『日本における在来的経済発展と織物業』 | 『日本経済新聞』 | 1998・11・3 |
| 13 「権上康男『フランス資本主義と中央銀行』 | 『日本経済新聞』 | 1999・11・3 |
| 14 「『1940年体制』は金日成によって完成された、か？
— 木村光彦『北朝鮮の経済』を読んで —」 | 『創文』第417号 | 2000・1, 2 |
| 15 「『満洲国』はいかにつくられたか
— 山田豪一『満洲国の阿片専売』 —」 | 『東方』第268号 | 2003・6 |
| 16 「金洛年『日本帝国主義下の朝鮮経済』 | 『社会経済史学』第69巻
第2号 | 2003・7 |
| 17 「中林真幸『近代資本主義の組織』 | 『日本経済新聞』 | 2003・11・3 |

G 目録・資料類

- | | | |
|--------------------------------------|--|---------|
| 1 『石田興平博士旧蔵・満洲関係文献目録』 | 神戸商科大学・
山本研究室 | 1978・12 |
| 2 『『張公権文書』目録』 | （井村哲郎と共編）
アジア経済研究所 | 1986・3 |
| 3 『『満洲』関係経済文献目録』 | （溝口敏行・松本俊郎・
高橋益代と共編）京都大学
人文科学研究所・山本研究室 | 1992・3 |
| 4 『〈近代日本の南方関与〉に関する
戦後日本刊行文献目録（稿）』 | （盛田良治と共編）
京都大学人文科学研究所・
山本研究室 | 1999・3 |

H ワーキング・ペーパー

- | | | | |
|---|--|---|--------|
| 1 | <i>Japanese Balance of Payments 1868-1967: Data and Findings</i> | Kobe University of Commerce Working Paper, No. 24 | 1975・8 |
| 2 | 『対「満洲国」投資額に関する若干の推計資料について』 | 神戸商科大学経済研究所・研究資料, No. 5 | 1977・5 |
| 3 | <i>Colonial Investments of Japan Empire</i> | (with Toshiyuki Mizoguchi) Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, Discussion Paper Series, No. 13 | 1979・2 |
| 4 | 『スタンフォード大学フーバー研究所文書室所蔵・張公権文書について』 | 神戸商科大学経済研究所・研究資料, No. 26 | 1980・5 |
| 5 | 『「満洲国」国際収支に関する既存資料について』 | 神戸商科大学経済研究所・研究資料, No. 27 | 1980・6 |
| 6 | 『「旧日本帝国」の域内・対外貿易マトリックスの作成 [I]』 | Institute of Economic Research, Hitotsubashi University, Discussion Paper Series, No. 53 | 1982・2 |
| 7 | 『「満洲国」国民所得統計について』 | 一橋大学経済研究所
中核的拠点形成プロジェクト
(アジア長期経済統計データベースプロジェクト)
Discussion Paper, No. D 97-6 | 1997・7 |

I 調査報告・研究報告

- | | | | |
|---|-------------------------------------|---|--------|
| 1 | 「太平洋戦争下『満洲国』経済の概観
— 工業化問題を中心に —」 | 『中国東北地方経済に関する調査研究報告書』
産業研究所 (アジア経済研究所) | 1986・3 |
| 2 | 「国民政府統治下における東北経済
— 1946～1948年 —」 | 同上 | 1986・3 |
| 3 | 「幕末・明治前期の貨幣構造」 | (委託研究報告) 日本銀行
金融研究所 | 1987・6 |
| 4 | 『「満洲国」国民所得統計について』 | 『第2次大戦下の日本経済の統計的分析』
(平成2-4年度科学研究補助金・総合研究A・研究成果報告書) 一橋大学
経済研究所・溝口研究室 | 1993・1 |

J 執筆分担・執筆協力

- | | | | |
|---|--------------|---|---------|
| 1 | 『滋賀県史 (昭和篇)』 | 第2巻行政篇 (第3章「財政」執筆) 滋賀県 | 1974・11 |
| 2 | 『日本近現代史辞典』 | (「外債」「外資導入」「為替管理」「外国為替管理法」の項目執筆)
東洋経済新報社 | 1978・4 |

- 3 『満州中央銀行史』 (執筆協力および校閲) 1988・11
東洋経済新報社
- 4 『日本史文献事典』 (『満洲国』の研究) 2003・11
『日本植民地経済史研究』
『両から円へ』『殖民及殖民
政策』の項目執筆) 弘文堂

K 講演会・討論会・座談会記録

- 1 「QEHI研究会記録」第1回～第5回 『日本経済研究センター
会報』第156号, 158号,
165号, 169号, 173号 1971・7, 8, 12,
1972・2, 4
- 2 「安場報告へのコメント」 社会経済史学会編 1979・4
『エネルギーと経済発展』
西日本文化協会
- 3 「(講演) 工業化発展における中心国と周辺国」 『人文』第25号 1982・3
- 4 「特集・経済史への新しい接近」 『季刊・現代経済』第47号 1982・4
- 5 「(名誉教授インタビュー) 堀江保蔵名誉教授に聞く」 『経済論叢』第135巻
第4号 1985・4
- 6 「江戸末期(文政～幕末・維新时期)における
物価動向と経済発展」 原田敏丸・宮本又郎編 1985・10
『歴史のなかの物価』同文館
- 7 「高増傑報告へのコメント」 『世界の中の日本』I 1989・2
(国際シンポジウム 第1集),
国際日本文化研究センター
- 8 「日本の経済発展に於ける『超長期雁行形態モデル』」 浜下武志・川勝平太編 1991・6
『アジア交易圏と日本工業化
— 1500—1900 —』
リポート
- 9 「岩橋報告へのコメント」 『金融研究』第17巻第3号 1998・7
- 10 「(講演記録) 人文・社会科学と共同研究」 関西大学法学研究所 1998・12
『ノモス』第9号
- 11 「(フォーラム) 日本における社会経済史学の発展と
新保史学 — 数量経済史研究への軌跡 —」 神戸大学経済経営学会 2004・1
『国民経済雑誌』第189巻
第1号

L その他

- 1 「(研究ノート) 日本におけるジャーディン・
マセソン商会」 『人文』第3号 1971・8
- 2 「(共同研究の話題) 情報の経済史をもとめて
— 日本領事報告の研究班 —」 『人文』第26号 1982・9
- 3 「父のこと」 (山本安次郎博士喜寿
記念文集) 『めぐりあい』
経営学理論研究会 1982・10
- 4 「『幕末在留西洋人名録』のこと」 『毎日新聞(夕刊)』 1984・2・9
- 5 「円とドルの百年史」 『NHK 歴史ドキュメント』 1987・2
第4巻, 日本放送出版協会
- 6 「『将軍』牌と Shrap 印」 『人文』第33号 1987・3

山本有造教授 略歴・著作目録

- | | | |
|--|--|-------------------|
| 7 「1988年7月中国東北地区における2つの
学術討論会への参加記」 | 『近きに在りて』第14号 | 1988・11 |
| 8 「堀江保蔵先生を偲ぶ」 | 『経済論叢』第148巻
第4・5・6号 | 1991・10・11・
12 |
| 9 「台湾インテリゲンチヤルズと日本語」 | 『人文』第38号 | 1992・3 |
| 10 「イタリア掃苔の旅」 | 『Corrente (日本イタリア
京都会館々報)』第115号 | 1992・12 |
| 11 「私の集書旅行」 | 『岩波講座・近代日本と
植民地』第2巻・月報 | 1992・12 |
| 12 「落伍者からの謝辞」 | 『青碧』第19号
(青山秀夫先生追悼号) | 1993・4 |
| 13 「不機嫌の吉田光邦先生」 | 『吉田光邦・両洋の人
—八十八人の追悼
文集—』思文閣出版 | 1993・11 |
| 14 「洋銀と円」 | 『日本歴史館』小学館 | 1993・11 |
| 15 「上賀茂煎茶会」 | 『以華為信』 | 1994・3 |
| 16 「『藤』にまつわる個人的な感懐」 | 『藤・二十周年記念文集』 | 1995・7 |
| 17 「人文研の共同研究」 | 『京大広報』第493号 | 1995・11 |
| 18 「『満洲国』マクロ経済統計について」 | (一橋大学経済研究所
中核的拠点形成プロジェクト)
『アジア長期経済統計データ
ベースプロジェクト・
ニュースレター』No. 5 | 1997・4 |
| 19 「『両』から『円』へ—幕末貨幣学のすすめ—」 | 『AERA Mook・幕末学の
みかた』朝日新聞社 | 1998・4 |
| 20 「回顧十年」 | 『近現代東北アジア地域史
研究会ニュースレター』
第11号 | 1999・12 |
| 21 「『中華民国期の経済統計』ワークショップ観戦記」 | 『アジア長期経済統計
データベースプロジェクト・
ニュースレター』No. 15 | 2000・1 |
| 22 「坂田吉雄氏の訃」 | 『日本歴史』第631号 | 2000・12 |
| 23 「『日本帝国史』への途
—『日本植民地帝国』の経済史的研究—」 | 京都大学人文科学研究所
『人文科学のフロンティア』 | 2002・3 |
| 24 「石田興平博士と石田文庫」 | 大阪経済大学日本経済史
研究所『経済史研究』
第7号 | 2003・3 |